

科目名 Course Name	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ Community DevelopmentⅡ			ナンバリング No.	I4-003		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-Learning で対応。または栄養棟 3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士受験資格必修)						
関連 DP	DP4, DP5, DP6						
授業の概要と 到達目標	<p>今日の社会問題や社会保障・社会福祉問題を抱える現代社会において地域福祉の推進は重要であり、社会福祉士の担う役割は大きい。本科目では、地域福祉を理解するために、地域福祉の地域福祉計画や多職種連携など地域福祉の展開について学ぶ。</p> <p>①地域福祉計画の意義・目的及び展開を例証することができるようにする。 ②地域福祉の多職種及び多機関協働の意義と実際について例証することができるようにする。 ③地域生活課題の変化と現状を述べることができるようにする。 ④地域生活支援体制における社会福祉士の役割を築くことができるようにする。</p>						
授業の方法	テキストと視聴覚教材、関連資料を使用した講義方式とするが、理解を深めるため、個別ワークやグループワーク、ディスカッションを取り入れる。						
学習成果	L01						
	L02	地域福祉に係る組織、団体及び専門職や地域住民の役割を述べるができる。					
	L03	地域福祉の推進方法について例証できる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	C-Learning のリアクションにて理解度等を測定、記載された質問事項には、翌週回答する。						
教科書/ 参考図書	教科書:加山弾「ストーリーで学ぶ地域福祉」有斐閣ストウディア						
履修上の留意点 やルール等	私語、携帯電話の使用を禁止。授業に関係のないもの(携帯電話、飲食物、化粧品、手帳)はかばんにしまうこと。配布資料・板書のデジタル化禁止。他の受講生に迷惑をかける行為があった場合は、退出を求めることがある。テキスト等、必ず持参すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で判断する。履修上の留意点を遵守し、遅刻なく準備を整え授業に臨み、必要なことはノートをとり、学んでいること。周りに迷惑をかけるような態度は、減点対象とする。		30		
レポート/作品	外部講師レポート 評価 S は提出要項を遵守し、講義・演習のプロセスと学びを要約し、自分の学習の成果を述べていること。			10	
発表					
小テスト					
試験	選択式、穴埋め、記述、事例問題、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。			60	
その他					
合 計			30	70	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の目標と進め方、成績評価についての説明、諸注意等)。
	事前・事後学習	事前:教科書を購入し、目次を閲覧しておく 事後:シラバスを再度読んでおく
2	授業内容	福祉計画の意義・目的と展開
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
3	授業内容	市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
4	授業内容	福祉計画の策定過程と方法、実施と評価
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
5	授業内容	地域共生の実現に向けた多職種協働
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
6	授業内容	福祉以外の分野と機関協働の実際(多職種協働を促進する仕組み)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
7	授業内容	コミュニティソーシャルワーカーの仕事と福祉のまちづくりの実際/外部講師:菅沼裕子氏(栃木市社会福祉協議会 社会福祉士)
	事前・事後学習	事前:社会福祉協議会、コミュニティソーシャルワーカーについて復習をしておく。 事後:資料を読みなおし、講義を振り返る。
8	授業内容	福祉以外の分野と機関協働の実際
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
9	授業内容	災害時における総合的かつ包括的な支援体制(非常時や災害時における法制度)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
10	授業内容	非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
11	授業内容	地域福祉と包括的支援体制の課題と展望(地域福祉ガバナンス)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
12	授業内容	地域福祉と包括的支援体制と展望(地域共生社会の構築)
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
13	授業内容	地域福祉におけるスーパービジョンとコンサルテーション
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
14	授業内容	福祉教育
	事前・事後学習	事前:テキストを読み、わからない漢字や専門用語等を調べて理解しておくこと。 事後:テキストの該当部分を読み、資料の見直しをしておく。
15	授業内容	後期のまとめ
	事前・事後学習	事前:配布資料を過不足のないよう整理し、見直しをしておく 事後:試験勉強